

TOKYO
GLOBAL
GATEWAY

東京都英語村 TOKYO GLOBAL GATEWAY

令和 7 年度 (2025)

実践事例集

株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY

CONTENTS

盛岡市立厨川中学校	P.4
花巻市立矢沢中学校	P.4
北上市立北上北中学校	P.5
東北学院中学校	P.5
南相馬市立原町第一中学校	P.6
静岡市立清水興津小学校	P.6
浜松市立西小学校	P.7
大垣市立上石津学園	P.7
多治見市立笠原中学校	P.8
福岡県立筑前高等学校	P.8
久留米市立久留米商業高等学校	P.9
長崎県立長崎北陽台高等学校	P.9
宮崎県立延岡星雲高等学校	P.10
沖縄県立那覇西高等学校	P.10

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和7年4月8日（火）
利用学年・参加人数	第3学年・186名
利用コース（時間）	セッション4-5（13：35～16：55）

盛岡市立厨川中学校



○利用日の行程

1日目：盛岡駅 8：11⇒東京駅⇒皇居外苑散策⇒**TOKYO GLOBAL GATEWAY**⇒両国夕食⇒ホテル

2日目：ホテル⇒都内班別職場研修⇒東京ディズニーリゾート⇒ホテル

3日目：ホテル⇒クラス別研修⇒上野駅⇒盛岡駅 17：11

（⇒鉄道、→バス）

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

企業や大学のグローバル化、訪日外国人観光客の急増や相次ぐ国際スポーツ大会の国内開催、学習指導要領の改訂など、生徒を取り巻くグローバル教育環境は大きく変化しつつある。そこで「学校では実施が難しい非日常の空間で」、「少人数でイングリッシュスピーカーの付き添いを受け」、「世界の多様性や将来のキャリアを意識したグローバルプログラムに英語で挑戦するため」TGGを導入した。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

2日目の都内班別職場研修では、外交の最前線から読み取り、他国と日本の関係性や世界における日本の位置づけを学ぶため、在日カナダ大使館やドイツ大使館の訪問を行った。3日目のクラス別研修では、世界に開かれた観光大国を目指して、浅草寺・仲見世で、訪日外国人に「日本に来た目的」「日本の素晴らしさ」「日本で期待していること」を街頭インタビューした。

○TGG利用前後の学校での取り組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

英語の授業の初めに small talk を行っているが、以前より英語で質問しても、躊躇することなく応答することができるようになった。英語を話すことにに関して、自信がついた生徒が増えたように思える。授業以外の場面でも、英語で話しかけてくる生徒も増えた。今後、授業の中では、多少の間違いを気にすることなくリテリングやプレゼンテーションを行い、さらに自信をつけさせたい。

英語を通してコミュニケーションスキルを磨く

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和7年4月23日（水）
利用学年・参加人数	第3学年・51名
利用コース（時間）	セッション1-2（9：00～12：20）

花巻市立矢沢中学校



○利用日の行程

1日目：新花巻駅⇒皇居・国会議事堂・東京タワー⇒東京ドーム（ナイター観戦）⇒ホテル

2日目：ホテル⇒**TOKYO GLOBAL GATEWAY**⇒東京ディズニーランド⇒ホテル

3日目：ホテル⇒浅草⇒上野選択研修（動物園・博物館・科学館・美術館）⇒新花巻駅

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

英語を介した体験活動を通して、生徒一人一人が積極的に人と関わりながらコミュニケーション力を養い、これまでの自分よりも自信を手に入れることにより自己効力感の醸成を図りたいと考え、TGGを利用させていただいた。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

TGGでの体験時間を3時間確保するために修学旅行2日目の午前中に設定した。初日は首都東京を体感するための行程を計画、3日目は帰路を想定した行程となるため、2日目の午前中が生徒にとって最も集中し、意欲的に学べるのではないかと考えた。

○TGG利用前後の学校での取り組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

当日、グループに分かれてエージェントとふれ合った瞬間に生徒たちの表情が一気に変わった。生き生きと学ぶ姿に引率教員も大きな刺激を受けたものと思われる。今後、TGGでの貴重な学びを生かし自分に自信を持ってたくましく生きていく生徒の育成に教職員一丸となって努めていきたい。

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和6年9月25日（水）
利用学年・参加人数	第3学年・39名
利用コース（時間）	セッション4-5（13:35～16:55）

北上市立北上北中学校



○利用日の行程

1日目：北上駅⇒東京都内研修⇒ホテル
2日目：ホテル⇒**TOKYO GLOBAL GATEWAY**⇒東京ディズニーランド
3日目：ホテル⇒合唱指導⇒東京都内研修⇒学校

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

海外で実際に起きそうな場面を自分たちの英語で解決するプログラムを通じ、英語コミュニケーションの成功体験が得られるTGGを利用したいと考えた。また各グループにエージェントが付き添い、目的・場面・状況が設定された実践的かつ探究的な学習に取り組めるところが魅力的であった。

○OTGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

初日はJICAで講話を聞いたり戦争に関わる歴史を学ぶ施設を訪問したりと、我が国をグローバルな視点で俯瞰できるような研修を行うことで、自分は世界を構成する一員であるという自覚を促した上でTGGを訪問することができるようにした。

○OTGG利用前後の学校での取り組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

TGGでの様々なプログラムを通して「英語で伝えられた！」という感動を味わうことができ、とても充実した体験となった。また、英語の授業では言語面、内容面だけでなく、相手に自分の思いをより分かりやすく伝えようとする態度面の向上が見られた。

修学旅行での異文化学習・英語コミュニケーション研修

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和6年12月4日（水）
利用学年・参加人数	第3学年・184名
利用コース（時間）	セッション1-2（9:00～12:20）

東北学院中学校



○利用日の行程

1日目：仙台駅（9:00）⇒リディラバSDGs／社会問題スタディツアー⇒横浜中華街⇒ホテル
2日目：ホテル⇒**TOKYO GLOBAL GATEWAY**⇒東京都内／班別自主研修⇒サンセットクルーズ⇒ホテル
3日目：ホテル⇒ディズニーアカデミー⇒ディズニーランド⇒ホテル
4日目：ホテル⇒クラス別／テーマ別研修⇒上野駅集合⇒仙台駅（18:25）

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

本校の修学旅行の目的の1つに、「異文化学習を通して、物事の考え方や捉え方の違いを学び、お互いを理解する力を養う」ことを掲げている。その目的を達成するために、実践的かつ探究的な学習に取り組める研修であることがTGG利用目的の1つである。

○OTGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

4日間の行程のため、初日と2日目には、修学旅行の目的にあるSDGs学習、異文化学習を取り入れ、全体研修を行った後に、班別自主研修とした。3日目はディズニーアカデミーとディズニーランド、4日目はクラスごとの単位での研修とした。

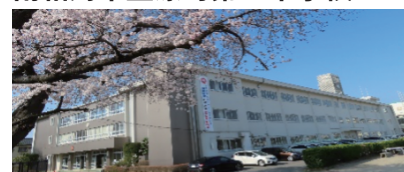
○OTGG利用前後の学校での取り組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

研修を終えた生徒たちが「日本語が懐かしい！」と言いながら集合場所に帰ってきたことがとても印象に残っている。生徒の感想には「実際の英語を使うシチュエーションを体験できたので、TGGが特に良かったと感じました。」とあった。

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和7年4月24日（木）
利用学年・参加人数	第3学年・87名
利用コース（時間）	セッション1-2（9：00～12：20）

南相馬市立原町第一中学校



○利用日の行程

1日目：南相馬市⇒スカイツリー⇒浅草班別研修⇒国会議事堂⇒劇団四季観劇⇒ホテル
2日目：ホテル⇒企業体験研修（都内各地で班別研修）⇒東京ディズニーシー⇒ホテル
3日目：ホテル⇒**TOKYO GLOBAL GATEWAY**⇒南相馬市⇒ホテル

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

地元を離れ、東京ならではの多様な経験を通して、社会的な視野を広げることが本校の修学旅行の目的である。TGGはこうした目的を達成するとともに、国際的なコミュニケーションの意義を体験させる施設であると考え利用した。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

初めてTGGを利用したため意図したわけではないが、初日にスカイツリーや浅草でインバウンド（外国人旅行者）の多さに圧倒され、ホテルでも外国人に話しかけられる生徒がいたため、英語を学ぶ必要感を実感した上でTGG研修に臨むことができた。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

英語を学んでも使う機会がないために生徒の学習意欲が高まらない現状だったが、TGGは外国人エージェントとのコミュニケーションにより、勉強ではない生の英語に触れたり、伝わることの楽しさに触れたりするいい機会となった。短時間でも濃密な体験ができ、生徒の目の色が変わったのが分かった。

TGG体験プログラムを通したキャリア学習

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和7年6月11日（水）
利用学年・参加人数	第6学年・86名
利用コース（時間）	セッション4-5（13：35～16：55）

静岡市立清水興津小学校



○利用日の行程

1日目：静岡駅⇒東京駅⇒コース別活動（そなエリア・日本科学未来館・水の科学館）⇒**TOKYO GLOBAL GATEWAY**⇒ホテル
2日目：ホテル⇒国会議事堂⇒花やしき（班別）⇒浅草散策（班別）⇒東京タワー⇒バスで学校

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

本校は「自分から動く」を目標に、自己選択・自己決定の場を大切にしている。今回、TGGで「自分からアクションを起こす体験」をさせ、エージェントの方と積極的にコミュニケーションをとることを願って活動を試みた。また、これまでの英語学習の学びを生かした活動の機会と考えた。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

TGGを一日目の中心となる活動と位置付けて設定した。子どもたちは、自分のやりたい活動を選択し、「自分を出すこと」「友だちやエージェントと積極的に関わり、活動を充実させること」をめあてにし、体験学習を楽しみにしていた。事前にどんな体験ができるかICTを活用して学んだ。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

英語活動が好きなお子でもあったが、さらに自分からわからないことを質問したり調べたりする児童が増えてきた。TGGでは普段使わない英単語も学ぶことができ、さらに学びを深めたいという感想もあった。英語を使う楽しさだけでなく、相手意識・相手理解の大切さも学ぶことができた。

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和6年11月20日（水）
利用学年・参加人数	第6学年・69名
利用コース（時間）	セッション4-5（13：35～16：55）

浜松市立西小学校



○利用日の行程

1日目：浜松駅⇒東京駅⇒国会議事堂⇒月島もんじゃ焼き体験⇒**TOKYO GLOBAL GATEWAY**⇒ホテル
 2日目：ホテル⇒上野公園班別活動（上野動物園・国立科学博物館）⇒浅草体験活動
 （藍染め・たい焼き・江戸切子）⇒浅草散策⇒スカイツリー⇒浜松駅
 ※東京都内は貸し切りバス

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

本校はキャリア教育として育む能力の一つの「課題対応能力」の育成をねらいとして、毎年、TGGを利用している。ネイティブと一緒に授業で学んだ英語を活用し、日本文化と外国文化そして働く人の生き方を体験的に学び、これまでの学習成果を試す貴重な体験の機会と考えている。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

TGGを一日目の中心となる活動と位置付けて設定した。子どもたちはTGGをととても楽しみにしているので、積極的に体験学習に取り組み、修学旅行が充実したものとなった。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

施設の紹介動画の視聴以外は特別な事前学習は行わず、日頃の学習を生かそうと投げ掛けていた。英語に苦手意識があったが「意外とわかった、話せた」と自信をつけ、外国語学習に前向きになった児童もいた。利用後、教師も授業で英語を使用する頻度を増やし、TGGでの学習の流れを引き継ごうと心掛けている。

『伝えたい！』という気持ちが原動力

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和7年6月13日（金）
利用学年・参加人数	第9学年・35名
利用コース（時間）	セッション1-2（9：00～12：20）

大垣市立上石津学園



○利用日の行程

1日目：岐阜羽島駅 9:33出発⇒東京駅⇒国会議事堂⇒都内班別研修 13:30開始⇒ホテル
 2日目：ホテル⇒班別企業研修 10:00開始⇒東京ディズニーランド 14:15集合⇒ホテル
 3日目：ホテル⇒**TOKYO GLOBAL GATEWAY** 9:00開始⇒東京駅⇒岐阜羽島駅 16:30到着

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

「本物に出会う」ことを今回の修学旅行のテーマとした。「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、英語を実際に使う活動を通じて、言語能力とともに、生徒の学びの意欲を高めることを目的とした。また、英語を使わなければならない環境に生徒を追い込むことで、伝わる喜びを感じさせたいと考え、本施設の利用を考えた。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

初日は「首都東京を体感する」、2日目は「日本を動かす企業から学ぶ」、最終日には「グローバルな社会で生きていく力をつける」ことを目的とした。初日と2日目は主に班別で学習を行い、最終日は学年全員で学習を行った。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

はじめはプログラムに不安を感じていた生徒も多かったが、終わった後は「とても楽しかった」と言っていた。日常の授業において、相手と会話をつなげることで、自分の意思が伝わるよう相手の理解に応じて言い換えることに力を入れて指導してきたため、今回の体験を生かしてコミュニケーション活動により意欲的に取り組めるようになってきている。

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和7年5月22日（木）
利用学年・参加人数	第3学年・57名
利用コース（時間）	セッション2-3（10：10～14：35）

多治見市立笠原中学校



○利用日の行程

1日目：学校出発（バス）⇒原宿・スカイツリーを起点に都内班別研修⇒ホテル着
2日目：ホテル出発⇒**TOKYO GLOBAL GATEWAY**⇒東京ディズニーランド⇒ホテル着
3日目：ホテル出発⇒国会議事堂見学⇒浅草散策・昼食⇒学校着

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

本校は、平成15年度から小学校とともに『文部科学省研究開発学校』として小中連携を踏まえた英語教育の実践を積んできた。現在も、小学校は『教育課程特例校』として6年間で330時間の教科英語を継続している。本校が位置する笠原地域で30年前から取り組んでいる幼保小中一貫教育の取り組みの柱である英語の学びを実践的に発揮できる最適な場として利用を決めた。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

令和8年度から義務教育学校『笠原小中学校』として新たにスタートする。教育活動の特色である英語教育の充実を図るため、修学旅行でのTGG利用や外国人留学生を招いての交流会を計画している。2日目の午後の活動が東京ディズニーランドということもあり、移動時間のロスを減らすためホテルを連泊（浜松町）とし、TGGおよびTDLでの活動時間を確保した。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

幼保小中を通して英語でのコミュニケーション力を培ってきていたため、TGGでの活動に対する不安感や抵抗感はほとんどなく、むしろ楽しみにしている生徒が多かった。今回体験した「アトラクション・エリア」と「アクティブイマージョン・エリア」でのプログラムも参考にしながら、留学生との交流等をさらに充実させていきたいという生徒の意欲が高まった。

修学旅行でのレベル別英語語学研修

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和6年10月28日（月）
利用学年・参加人数	第2学年・181名（国内修学旅行選択者）
利用コース（時間）	セッション4-5（13：35～16：55）

福岡県立筑前高等学校



○利用日の行程

1日目：福岡空港⇒羽田空港⇒レベル別英語語学研修 **TOKYO GLOBAL GATEWAY**⇒月島もんじゃストリート⇒ホテル
2日目：ホテル⇒都内班別自主研修⇒ホテル
3日目：ホテル⇒企業・大学研修⇒リディラバ・ワークショップ⇒ホテル
4日目：ホテル⇒東京ディズニーリゾート研修⇒ホテル
5日目：ホテル⇒浅草散策⇒横浜中華街⇒羽田空港⇒福岡空港

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

本年度の本校の修学旅行は、海外修学旅行（シンガポール）と国内修学旅行（東京）の選択制である。国内修学旅行を選択した生徒にも海外で遭遇する内容に近い実践的な英語コミュニケーションをTGGで体験させることで、成功体験を味わわせ、校内の英語教育に資する一助とする。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

緊張感のある修学旅行の初日にTGGでのレベル別英語語学研修のプログラムを集中して行ったことで、他日のプログラムにおいても単なる物見遊山の流れで、修学旅行を過ごすことがないように意識づけることができた。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

レベル別の研修としたため、各自の英語力に応じた指導を展開していただいた。そのため、生徒の満足度が高い研修になった。研修の様子を参観したが、最後まで飽きさせず、楽しませながら英語コミュニケーションに取り組ませていた。生徒には英語4技能の有用性を理解させる一助となったと考える。

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和6年11月8日（金）
利用学年・参加人数	第6学年・237名
利用コース（時間）	セッション1-2（9：00～12：20）

久留米市立久留米商業高等学校



○利用日の行程

—————：貸し切りバス =====：飛行機

1日目：福岡————東京（社会人講話）————山梨（河口湖）泊
 2日目：山梨（野外活動）——神奈川（同窓会との交流）——横浜（自主研修）——千葉（舞浜）泊
 3日目：千葉（東京ディズニーリゾート）————千葉（舞浜）泊
 4日目：千葉（舞浜）————**TOKYO GLOBAL GATEWAY**（語学研修）————福岡

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

日頃の授業で学習している英語が実際に通用するという自信を持たせ、英語検定や進路決定に意欲的に取り組めるような体験の場を設定するため。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

国内修学旅行でありながら、外国人や生きた英語に触れる機会や国際的な感覚を養う場を設定したいと考えた。また、生徒の主体性を尊重しながらクラスや性別に関係なく活動することで、互いの言動から多くを学び取れるスタイルを重視した。

○TGG利用前後の学校での取り組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

英語に対して苦手意識を抱いている生徒も多かったが、活動中は生き生きとした表情でコミュニケーションを取っていた。利用後は、日常の挨拶や用件を英語で述べたり、英語検定試験の受験を申し込む生徒が増えた。

文理探究科研修旅行

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和6年11月12日（火）
利用学年・参加人数	第1学年・79名
利用コース（時間）	セッション2-3（10：10～14：35）

長崎県立長崎北陽台高等学校



○利用日の行程

1日目：長崎空港→羽田空港→**TOKYO GLOBAL GATEWAY**→ホテル（筑波）
 2日目：ホテル→筑波大学研修→筑波宇宙センター→研究所研修【物質・材料研究機構（NIMS）／高エネルギー加速器研究機構（KEK）／国土地理院／国際協力機構（JICA筑波）】
 3日目：上野地区研修／ポルトガル大使館訪問→羽田空港→長崎空港

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

本校は、長崎県をはじめ世界の持続的な成長・発展に貢献するために必要な資質・能力をバランスよく身につけることを大きな目標としている。特に文理探究科は、「本物」に触れる機会をより多く取り入れることを重視している。TGGでは、日頃の学習内容を実践場面に落とし込むことにより、学習内容理解の深化を期待した。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

研修の初日で、最も緊張感や集中力が高まった状態を維持した。TGGでの中身の濃い活動（専門的なテーマ等）が入ることにより、生徒は研修旅行の意義深さを実感できた。具体的には、アトラクションエリアでの日常会話を体験すると共に、アクティブイマージョンエリアでマーケティングの手法やテレビ番組の制作場面に携わり、より専門的、本格的な状況を体感した。

○TGG利用前後の学校での取り組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

前後における大きな変化は無いが、エージェント等との交流を通して、自身の英語力を認識する絶好の機会となった。普段の積極的な学習取り組みの重要性に加え、コミュニケーションの大切さも実感し、オンラインの英会話講座を受講している中においても、一層意欲が増しているものと思われる。

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和6年12月3日（火）
利用学年・参加人数	第2学年・136名
利用コース（時間）	セッション4-5（13：35～16：55）

宮崎県立延岡星雲高等学校



○利用日の行程

1日目：宮崎⇒羽田空港⇒浅草寺⇒**TOKYO GLOBAL GATEWAY**⇒帝国劇場
 2日目：（文系）鎌倉大仏殿⇒鶴岡八幡宮⇒小町通・江の島散策
 （理系）NTT研究開発センター⇒CYBERDYNESTUDIO⇒つくばエキスポセンター
 3日目：東京自主研修⇒東京ディズニーリゾート
 4日目：日本科学未来館⇒羽田空港⇒宮崎

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

体験的な学習（なすことによって学ぶ）が必要だと考えていた。TGGは、施設や環境が充実しており、社会のリアルな場面を想定しての英語活用ができるため行程に取り入れた。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

2日目の行程が文系と理系に分かれての活動であったので、1日目は全体での活動を行いたいと考えた。またTGGの直前に浅草寺に行き、外国の観光客の多さに触れさせた後で英語活用の場を設定することで、グローバル化に対する理解が深まり、英語活用に対する意欲が向上すると考えた。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

利用前は、自らの英語力に不安を抱え、身構えていた生徒たちであったが、エージェントの方々のアイスブレイクや分かりやすい説明、失敗に寄り添う姿勢などを通じて、徐々に英語活用に自信を深めていった。その姿勢は学校に戻っても続いている

国内語学研修旅行における留学疑似体験

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和7年1月10日（金）
利用学年・参加人数	第1学年・80名
利用コース（時間）	セッション4-5（13：35～16：55）

沖縄県立那覇西高等学校



○利用日の行程

1日目：沖縄⇒羽田空港⇒**TOKYO GLOBAL GATEWAY**
 2日目：東京⇒福島⇒BRITISH HILLS研修
 3日目：BRITISH HILLS研修
 4日目：BRITISH HILLS修了式⇒羽田空港⇒沖縄

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

将来の留学に備え、海外での様々な日常生活シーンをういた疑似体験を通して、英語コミュニケーション能力を高める。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫・行程の特徴

ブリティッシュヒルズ研修のウォームアップとして取り入れた。国内語学研修旅行という目的から、アトラクションエリアとアクティビティエリアの両方の活動をバランスよく取り入れた。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

日頃授業で学んでいる英語を実践できる場を設定出来たことは生徒たちに自信とモチベーションを与える効果があった。また、TGGエージェントの方々のフレンドリーな対応により、一層、英語でコミュニケーションを取ろうとする態度を高めることが出来た。生徒の事後アンケートや事後学習発表会により、足りなかった部分を改めて確認することができ、今後英語学習で力を入れるべきところは何か考える機会になったのではないかと感じられた。



**令和 7 年度 (2025)
実践事例集**